

# 都市施設に関する論点及び方針について

---

令和4年12月19日

# 都市施設に関する論点及び方針について

## ■ 町民からの視点

- ・ 高校生・町民が集まることが出来る拠点の形成
- ・ 鉄道の歴史を伝える機能
- ・ 町の魅力を伝える情報発信拠点
- ・ イベント時などの賑わい空間づくり
- ・ 財政負担の軽減

## ■ 町外・来訪者からの視点

- ・ 観光情報を取得できる機能
- ・ 倶知安をはじめ広域的なエリアの物産を購入できる機能
- ・ ゆったりと待ち時間を過ごすことができる空間づくり
- ・ エリアのシンボルである羊蹄山の眺望を楽しめる空間づくり
- ・ ビジネス支援機能

## ■ これまでの議論

- ① **眺望**：屋上への眺望空間の設置、屋内の眺望スペースの確保（2階）
- ② **情報発信機能**：広域的な情報・物販を集めた情報発信機能＋物販機能
- ③ **1階と2階の機能分担**：1階（情報発信・物販）、2階（たまりスペース）
- ④ **町民の日常利用への配慮**：スタディスペース、飲食機能
- ⑤ **倶知安駅の歴史を伝える機能**：鉄道遺産の展示

## 駅舎デザインコンセプト

### 羊蹄の四季の恵み ～ふるさとと世界が出会う駅～

#### 方針（案）1 季節感の演出

～オールシーズン楽しめるリゾート地の玄関口～

例)

- ・ 天井吊りバナー（タペストリー）等による演出
- ・ アウトドアギアのディスプレイ（カヌー、自転車、スキーなど）
- ・ 屋外の景観との一体性の確保
- ・ 四季を通じたイベントの開催

#### 方針（案）2 国際的なリゾート地の玄関口にふさわしい空間づくり

～待ち時間を豊かに過ごせる空間の演出～

例)

- ・ 自然素材を多用したデザイン
- ・ ゆったりとくつろげる待合空間
- ・ 世界標準の機能性（通信など）
- ・ 荷物の大きさへの配慮（トイレ、手荷物預かり機能）
- ・ 多言語案内、ユニバーサルデザイン

#### 方針（案）3 倶知安・羊蹄エリアの地域性

～倶知安駅として、地域としての歴史・文化の継承～

例)

- ・ 鉄道遺産の展示
- ・ 広域的な物産（羊蹄山麓・岩宇含む）販売機能
- ・ 地域の食文化を踏まえたオリジナルメニューの提供
- ・ 広域的な観光情報の提供
- ・ 二次交通関連情報の充実

#### 方針（案）4 効率的で柔軟な運営を見据えた施設づくり

～持続可能な運営の実現～

例)

- ・ 官民連携による運営体制の検討
- ・ 維持コスト低減を見据えた施設づくり
- ・ 収益性の確保（商業、飲食）
- ・ 需要変動に対応し、催事やイベント時でも柔軟な対応ができる間仕切り